

北九州市議会議員
市政レポート
大久保むが

かわら版

第五十四号

一 大久保むが事務所 一

北九州市八幡西区則松一丁目101
TEL 093-1980-1680
FAX 093-1980-1680
<https://www.mugamuganet/>

E-mail yahatanishi@mugamuga.net



令和五年二月定例会 四月臨時議会

北九州市長選挙が令和5年2月に行われました。市長選挙が行われる年は当初予算の編成が6月に行われます。このため、3月定例会は4月～6月までの暫定予算が編成されることがあります。

3月定例会は新しく就任した武内市長がどのような市政を執り行うのかについて議会からさまざま質問が行われました。

市長給与の削減について

市長選挙における武内市長の公約に、市長給与の一割削減という項目がありました。その真意について議会で議論が行われました。

「行政改革に取り組む覚悟を示した」という答弁が市長よりなされ、トップとしての姿勢を明らかにしたいという政治信条に基づいて、条例案を提出した旨の答弁がありました。

また、副市長についても同様に減額を行つことが提示されましたが、教育長や職員などへの減額は行わないとのことでした。

◆議会での議論を 聞く中での私の考え方



議会での議論を聞いた上での感想は、市長給与の削減が行政改革を行うための姿勢を示すものであるのならば、市長が目指す行政改革とは事業の削減を目指すことが主になることを意味するのではないかと考えられました。

しかし、どのような改革をするのかについては具体的な方針を官民合同チームの結論に委ねているように受け止められ、その姿が議論からは全く見えてきませんでした。

官民合同チームについて

本来、市の予算は3月に次年度の予算審議の議会が行われ、4月から予算が執行されるのですが、市長選挙が行われる年は、3月議会で4～6月までの暫定予算、6月議会で本予算という形が取られます。そのため、暫定予算はあくまでも行政を運営するのみの予算となり、政策的な予算は6月を待つのが地方自治法上

の考え方となります。

しかし、「この暫定予算の中に官民合同チームがどのような性質のもので、何を行うのかについてもやり取りが行われました。

官民合同チームについて市長は、「財務や企業再生などの経験に加え、改革意欲のある方に参加を頂きたい」と市の職員や民間で構成され、そのチームが立ち上がりながら、「この」が行政改革のターゲットとなるのか、優先順位や規模、手法などについて議論していくとの考えが示されました。

また、期間については6カ月を中途とすることとも併せて示されました。

学校給食の品質向上について

市長公約に、学校給食の品質向上ことが示され、物価高騰が厳しい中どのような手法や考え方で品質を向上させていくのかについても議論されました。

◆議会での議論を 聞く中での私の考え方



費用を市民に求めたうえで質が向上するのであれば、誰でも公約できます。しかし非常に残念ながら執行部側の答弁としては費用の値上げと質の向上がセットになつており、これは公約違反なのではないか?と考えられます。

これについては議会の中で今一度しっかりと確認していきたいと思います。



教育長による答弁

これについて教育長は政令市の中でも低いほうになつてている給食費を、政令市の平均額ぐらじにまで上げた中で、メニューを豊富にするとか地産地消の推進などを検討して参りたい、という考えが示されました。





国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付を受けて、電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援交付金事業として、非課税世帯及び家計急変世帯に対し、一律3万円の給付金を支給する議案が提出されました。また、令和5年3月分の児童扶養手当を北九州市から受給された方や、食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対する生活支援として、児童一人あたり5万円を支給する子育て世帯生活支援特別給付金事業(15億

15億円の先決処分が報告され、議会は今回の補正に対し、支援対象者を幅広くし、より多くの人に給付金などの支援が行われるよう、決議を行いました。

議会は今回の補正に対し、支援対象者を幅広くし、より多くの人に給付金などの支援が行われるよう、決議を行いました。

令和五年四月臨時議会 48億8,000万円の補正予算が可決

4,000万円)が事業施行時期の関係から専決処分とされた報告も行われました。

しかし、今回の物価高騰対策

子育て世帯に幅広い支援策を求める決議

今臨時議会では、政府による子育て世帯生活支援特別給付金事業(以下「子育て給付金」という。)に係る一般会計補正暫定予算15億4,000万円の専決処分に対する承認議案、並びに、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業に係る48億7,500万円の一般会計補正暫定予算案が提出されている。

コロナ禍や国際情勢等により、物価高騰等で経済状況は不安定であり、住民税非課税世帯等に対して給付金を速やかに支給することが求められる。

一方で、本市における今回の子育て給付金の支給対象でない世帯は、約7万5,000世帯、支給対象外の18歳以下の人数は、約11万4,000人に上る。これは、給付対象世帯の約1万8,000世帯、支給対象者約2万9,900人をはるかに上回る。

緊急経済対策としての今回の給付金の支給は是認する。しかし、物価高騰等の影響や子育ての負担は、給付対象外の世帯も同様である。子育て給付金が子育て支援も目的としているならば、対象外の子育て世帯に対する配慮を欠いていると指摘せざるを得ない。

よって、本市議会は、本市に対し、子育て給付金の支給対象外の世帯への幅広い支援策を市独自で講じることを強く要請する。

以上、決議する。

令和5年4月27日

北九州市議会

の補正や、子育て世帯生活支援特別給付金事業は、非課税世帯や対象が児童扶養手当支給されている世帯や家計急変世帯に限定されるため、給付対象とならない世帯や子育て世帯に対する支援はされておらず、議会として幅広い子育て世帯に対する支援策を求めてることを全会一致で求めました。

あなたの街の困ったことや、なつせだろう?と思うことを、お気軽にお知らせください。マートフォンでQRコードを読み取って、記入フォームから送信できます。

わがまち点検隊

あなたのまちの困ったことや、なぜだろう?どこに相談したらよいだろう?と思うこと。
お気軽にお知らせください。調査致します。

ご意見記入例

- ★ ○○町の○○公園の公衆トイレが壊れている。
- ★ ○○町の交差点の交通量が多く、横断しづらい。
- ★ ○○町●番の△△さんの家の前の街灯が切れている。
- ★ ○○町のT字路にカーブミラーがなく、車で曲がりにくい。

など

QRコード
こちらより↑
ご意見をお願いします

北九州市議会議員 大久保むがプロフィール

平成6年福岡県立北筑高等学校卒業。平成10年九州国際大学国際商学部卒業後、平成12年から元衆議院議員・北橋健治氏の秘書に。その後、さらなる政治の勉強をするため、平成18年北九州市立大学・法学研究科に入学、政策科学を学ぶ。勉学のかたわら、参議院議員・大久保勉氏の秘書を平成19年まで務める。平成20年3月、北九州市立大学・法学研究科を卒業。同時にヘルパー2級取得。平成21年北九州市議会議員に初当選、総務財政委員会に所属。2期目前半に環境建設委員長に就任。3期目の前半に教育文化委員会。現在は経済港湾委員長。「国民民主党」「立憲民主党」の合流に参加せず現在は無所属。NPO法人「KID's Work」スタッフ。

大久保むが事務所

〒807-0831 北九州市八幡西区則松1-8-28-101 Tel 093-980-6806 Fax 093-980-6807
<https://www.mugamuga.net/> E-mail yahatanishi@mugamuga.net



今号のなぞかけ
選挙とかけまして、京都名物ととります。
その心はどちらも
おばんざい(万歳!!)。
むがっちはです。